



立教大学体育会ゴルフ部OB会 会報

年頭のごあいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成 18 年の年頭にあたり、OB 会を代表いたしまして皆様に心からお祝いの言葉を申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと国際的にはテロの発生、ハリケーン、地震による自然災害など厳しい 1 年となりました。国内的には郵政選挙といわれた衆院選における小泉自民の圧勝。経済界では大企業や IT ベンチャーを中心に景気回復の足音が聞こえ始めてきました。スポーツ界ではご承知の通り女子ゴルフに代表されるように若い女性の活躍が目立った 1 年でもありました。

我々立教大学ゴルフ部も青木監督指導のもと精一杯 1 年を戦いぬきました。秋季リーグ戦終了時、男子 C ブロック 6 位、女子 B ブロック 5 位という結果になりました。OB 各位の応援に感謝の意を表したいと思います。

今年は来年秋の創立 50 周年事業に向けていよいよ始動の年となります。記念祝賀会、50 年史の編纂等会員各位に物心両面のご協力ご理解をお願いしなければなりません。幹事会におきましてもこの 50 周年を一つの節目として、思い切った OB 会の組織改革を実行するための将来計画案が話しあわれました。新たな会員登録制度・アクティブ会員による OB 会活動への参加意識の高揚、現役への更なる支援体制の確立など、従来より一歩も二歩も踏み込んだ内容になりました。肥大化するばかりで機能しない組織に発展はありえません。そのあたりを OB 各位もご賢察の上、ご理解ご協力を賜りたいと思います。今年 1 年のご多幸の年であることを心よりお祈り申し上げます。



会長 中島 敬夫
(昭和 45 年卒)

平成 18 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会会報 目次	
立教大学体育会ゴルフ部部長ご挨拶	2
平成 17 年度対抗戦を振り返って	2
平成 17 年度競技会結果	4
平成 17 年度幹部ご挨拶	7
平成 18 年度新主将ご挨拶	7
立教高校、中学ゴルフ部活動報告	9
立教小学校 スナッグゴルフ関連情報	9
第 4 回 立教「大学」「新座高校」「池袋中・高校」ゴルフ部対抗戦	12
平成 17 年度立教大学体育会ゴルフ部OB総会 議事録	13
OB 会費納入のお願いならびに納入者一覧	15
平成 18 年度OB総会および懇親パーティーのお知らせ	16

立教大学体育会ゴルフ部部長 ご挨拶

ゴルフは矛盾のスポーツです。道具に凝ったり新兵器や新打法を練習場で試したりするのが嫌いなゴルファーはいませんし、又、ゴルフの最大の楽しみは何と言っても実際のラウンドにあります。これらはスコアの改善にはあまり寄与しません。むしろ、上達のためには上記を全て否定した「三無」主義が重要といっても過言ではないように思います。

即ち

1. クラブを買い換えない。
2. 練習場には行かない。
3. コースにも自らすすんでは出向かない。

このような事を今更申し上げるのには訳があります。私の場合、多忙、熱意の喪失、体調不良等々から、結果としてこの3原則を長年遵守(?)してきたのですが、年1~2回のラウンドが定着して10年目の今秋、突然の大進歩を遂げ、この調子が続けば軽々とシングル入りするのではないかという秋の珍事を体験中なのです。その理由は明らかで、長いブランクで30年来の悪癖がやっと抜け、スコアに何の欲も無く、加えて、曲がるが飛ばない超デカヘッドなど存在すら知らなかったお陰です。

しかし、ひとたびゴルフへの関心が復活しますと、やはり450ccが欲しい、一刻も早く試打したい、全週末をゴルフで埋め尽くしたい等々の衝動が心に去来し、やればやるほど下手になるというゴルフ地獄へ舞い戻ることに必至。その対策に更なる新兵器を求めて、久しく絶えていたショップ通いが復活すれば財布への影響も危惧されます。いやはやゴルフは魔物です。

監督・コーチが指導する部活ゴルフには以上のような意味での魔物性はないでしょうが、競技でのコースは魔物そのもの。そこでの格闘の結果、今年は男子がCブロックへ復帰、女子もBブロック維持を果たし、まずまずのシーズンでありました。更なる飛躍に向け、先輩各位の一層のご支援をお願い申し上げます。



体育会ゴルフ部部長
田代 泰久教授

平成17年度関東大学対抗戦を振り返って

《 春季男子Dブロックリーグ戦 》結果...優勝

Dブロックに降格した前回の秋季リーグ戦から今回の春季リーグ戦までの数ヶ月間、私にとってこれほどまでに長く感じた期間はありませんでした。以前、本校がDブロックに降格した際(平成3年度秋季リーグ戦)は、次にCブロックに昇格するまでに5季3年という年月を必要としたこともあり、現在の部員を信じてはいましたが、また同じように実力が出せずにDブロック残留という結果となり、Dブロックの泥沼から抜け出せなかったらどうしよう...という不安があったからです。したがって、優勝、そしてCブロック昇格という現実には私にとっては「嬉しい」というよりも、「ほっとした」という気持ちでありました。Dブロック降格からC昇格までの間、OB・OGの皆様には大変ご心配をお掛けいたしました。この厳しい状況の中でも、応援や励ましの言葉をいただいたOB・OGの皆様方のことは決して忘れません。ありがとうございました。



監督 青木 克益
(昭和63年卒)

《 秋季男子Cブロックリーグ戦 》結果...第6位

昇格後最初のリーグ戦は、降格ラインである7位の大学と9打差でどうにか逃げ切ったという、残留する

ことで精一杯のリーグ戦でした。このリーグ戦において4年生は引退となります。4年生3人の部員は、全員がそれぞれよく頑張ったと思います。このリーグ戦では、初日 だった中西に替え4年で初のレギュラーとなった渡辺を起用しました。初出場のリーグ戦で $37 + 39 = 76$ の活躍は期待以上で、残留に大きく貢献してくれました。渡辺自身も最初で最後のリーグ戦でベストスコアを出すなんて思ってもいなかったに違いありません。また西尾は、何度も出ているリーグ戦で生まれてはじめて手が震えながらゴルフをしました・・・と私に言ってきました。降格しようがどうしようが、部の歴史なんて関係ない、と思っている学生ゴルファーにはわからないとことだと思えます。彼は私が言ってきた伝統校の意地とプライドによるプレッシャーの中でゴルフをはじめたのだと思います。そして最後に甚野は主将として、また1年生からレギュラーとして頑張ってくれました。小さい身体でありながら、根性でパーを拾っていくスタイル。さらに立教大学体育会ゴルフ部に熱い気持ちをいつも持っていた彼のことは、決して忘れることはないと思います。現在在籍する部員では唯一のBブロックにおけるマッチプレーの経験者で、彼の抜けた穴は大きく、これを埋めるのは大変なことだろうと思えます。

今回のリーグ戦では下級生をひとりも使うことができませんでした。それだけにもっとよい結果を出さなければいけない戦いであったのですが、実際には残留することで精一杯となってしまいました。多くの課題が残りました。来季に向け、また一から出直したいと思えます。応援誠にありがとうございました。

《 春季女子Bブロックリーグ戦 》結果...第5位

部員不足で悩んでいた昨年の今ごろ、1年後のリーグ戦に本校は出場できるのか?など、不安に思っていた時期がありました。それを考えると、まずはリーグ戦に出場するという目標を達成できたこと、更なる上でBブロック残留を果たしたことは幸運なことであったと思えます。今回行われたBブロックのティー位置は、昨年のこの大会と同じであり、576ストロークで降格となった昨年を考えると、今回本校の出したこのスコアにより、Bブロックを残留できたことは信じられないことでもあります。現在、女子のリーグ戦は、女子大学生ゴルフ人口の減少に伴う参加校の減少、更に若年齢によるプロ化志向に伴うレベル上位者の大学進学率減少などにより、そのレベル、登録人数は年々低下しており、この現象はまだまだ続くと思われまます。大学でのゴルフを目的とする中間層のジュニアゴルファーを獲得できない本校においても、この厳しい状況はまだまだ続くと思われまます、少ない入部希望の1年生をどうにか確保し、2年生ではリーグ戦に出場できるまでにさせ、どうにか出場をつないでいきたいと考えております。

《 秋季女子Bブロックリーグ戦 》結果...第5位

春季リーグ戦を欠場してAブロックより降格してきた中央学院大学が今回の秋季Bブロックリーグ戦も欠場(部員不足と聞いています)となり、運よく本学はBブロック残留となりました。どの大学も部員不足で悩んでおり、ギリギリの人数で戦っているというのが現状であります。まずはリーグ戦に出場する人数を確保し、出場することが大切であることを改めて感じたリーグ戦でした。ここで残留できたツキを生かして、次回リーグ戦まではかなりの時間がありますのでどうにか実力で残留することが出来るレベルまで向上したいと考えております。今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

平成17年度関東大学男子春季Dブロック対抗戦

平成17年5月12日(木)～13日(金) 於 喜連川カントリークラブ
 2日間 36ホールストロークプレー。8人エントリー、6人出場、上位5人のトータルスコアで順位を決定。
 優勝校、2位校はCブロック昇格 7、8位校はEブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	立教大学	408	417	825
2	学習院大学	419	413	832
3	東北学院大学	424	419	843
4	東海大学	452	440	892
5	武蔵工業大学	453	444	897
6	成城大学	446	453	899
7	玉川大学	455	452	907
8	青山学院大学	462	450	912

個人別成績 名前(学年)	1日目			2日目		
	OUT	I N	TOTAL	OUT	I N	TOTAL
甚野(4年)	43	35	78	42	44	86
西尾(4年)	42	42	84	47	41	88
大原(3年)	38	43	81	38	43	81
石川(3年)	42	40	82	47	36	83
山村(3年)	46	44	90※	-	-	-
中西(3年)	-	-	-	46	43	89※
加賀山(3年)	-	-	-	-	-	-
郡司(2年)	42	41	83	40	39	79

上記の結果により、本学および学習院大学が秋季リーグ戦Cブロック昇格。

7位、8位となった玉川大学、青山学院大学がEブロック降格。

平成17年度関東大学女子春季Bブロック対抗戦

平成17年5月31日(火)～6月1日(水) 於 サンヒルズゴルフクラブ
 2日間 36ホールストロークプレー。4人出場、上位3人のトータルスコアで順位を決定。
 優勝校はAブロック昇格 6位校はCブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	法政大学	226	233	459
2	慶応義塾大学	256	263	519
3	学習院大学	274	283	557
4	日本女子大学	321	303	624
5	立教大学	319	311	630
6	東洋英和大学	336	327	663

個人別成績 名前(学年)	1日目			2日目		
	OUT	I N	TOTAL	OUT	I N	TOTAL
金森(2年)	69	57	126	56	64	120※
小俣(2年)	59	57	116	57	55	112
中島(3年)	43	47	90	43	46	89
伊東(4年)	55	58	113	53	57	110

上記の結果により、優勝した法政大学が秋季リーグ戦Aブロック昇格。本学はBブロック残留。

6位となった東洋英和女学院大学はCブロック降格。

平成17年度関東大学男子秋季Cブロック対抗戦

平成17年8月30日(火)～31日(水) 於 サザンヤードゴルフクラブ
 2日間 36ホールストロークプレー。8人エントリー、6名出場、上位5名のトータルスコアにより順位を決定
 優勝校はBブロック昇格 7位・8位校はDブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	法政大学	367	374	741
2	山梨学院大学	386	374	760
3	横浜商科大学	397	395	792
4	学習院大学	404	389	793
5	関東学院大学	394	399	793
6	立教大学	405	392	797
7	城西大学	410	396	806
8	東洋大学	欠場		

個人別成績 名前(学年)	1日目			2日目		
	OUT	I N	TOTAL	OUT	I N	TOTAL
釣部(2年)	-	-	-	-	-	-
大原(3年)	45	39	84	41	40	81※
石川(3年)	41	41	82	38	41	79
山村(3年)	42	39	81	44	37	81
中西(3年)	44	43	87※	-	-	-
渡辺(4年)	-	-	-	37	39	76
西尾(4年)	41	40	81	42	38	80
甚野(4年)	38	39	77	39	37	76

上記の結果により、法政大学の平成18年度春季リーグ戦Bブロック昇格。本学はCブロック残留。

7位、8位の城西大学、東洋大学がDブロック降格

平成17年度関東大学女子秋季Bブロック対抗戦

平成17年9月1日(木)～2日(金) 於 サンヒルズゴルフクラブ
 各校5名登録、4名出場(18ホールズストロークプレー)、上位3名のトータルスコアにより順位を決定
 優勝校はBブロック昇格 6位校はCブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	慶応義塾大学	251	253	504
2	駒澤大学	257	258	515
3	学習院大学	269	265	534
4	日本女子大学	278	275	553
5	立教大学	304	306	610
6	中央学院大学	欠場		

個人別成績 名前(学年)	1日目			2日目		
	OUT	I N	TOTAL	OUT	I N	TOTAL
金森(2年)	57	65	122※	62	58	120※
小俣(2年)	58	56	114	59	60	119
中島(3年)	48	46	94	42	45	87
伊東(4年)	48	48	96	48	52	100

上記の結果により、慶応義塾大学の平成18年度春季リーグ戦Aブロック昇格。本学はBブロック残留。

6位校の中央学院大学がCブロック降格。

平成17年度秋季ブロック対抗戦終了時順位

《男子》

Aブロック	
1位	日本大学
2位	東北福祉大学
3位	中央学院大学
4位	専修大学
5位	早稲田大学
6位	駒沢大学

Bブロック	
1位	日本体育大学
2位	慶應義塾大学
3位	神奈川大学
4位	明治大学
5位	中央大学
6位	法政大学

Cブロック	
1位	城西国際大学
2位	山梨学院大学
3位	横浜商科大学
4位	学習院大学
5位	関東学院大学
6位	立教大学
7位	東北学院大学
8位	東京大学

Dブロック	
1位	城西大学
2位	東洋大学
3位	拓殖大学
4位	成城大学
5位	武蔵工業大学
6位	東海大学
7位	青山学院大学
8位	帝京大学

Eブロック	
1位	大東文化大学
2位	帝京平成大学
3位	立正大学
4位	成蹊大学
5位	上智大学
6位	玉川大学
7位	筑波大学
8位	獨協大学

Fブロック	
1位	明治学院大学
2位	千葉商科大学
3位	一橋大学
4位	千葉大学
5位	首都大学東京
6位	国士館大学

《女子》

Aブロック	
1位	日本大学
2位	専修大学
3位	東北福祉大学
4位	日本体育大学
5位	法政大学
6位	慶應義塾大学

Bブロック	
1位	明治大学
2位	駒沢大学
3位	学習院大学
4位	日本女子大学
5位	立教大学
6位	玉川大学

Cブロック	
1位	中央学院大学
2位	聖心女子大学
3位	成城大学
4位	成蹊大学
5位	東洋英和女学院大学
6位	山梨学院大学
7位	東北学院大学

平成17年度幹部 ご挨拶

【 男子主将 】

Dブロックとしてむかえた本年度、私の目標は、春季でCブロック昇格を果たし秋季にBブロック昇格を目指せるチームを作ることでした。

昨年の苦い経験をふまえ、目標達成のために私は、「レギュラーとしての自覚」と「スコアへの執着」を各部員に徹底して指導してきました。その結果、むかえた春季リーグ戦では、本学の特徴とも言える粘り強いゴルフが展開でき、Dブロック優勝、Cブロック昇格を果たすことができました。しかし、Bブロックを目指した秋季リーグ戦では、各自の実力が思うように発揮できず、優勝校との差は歴然で、辛くも残留。6位という大変残念な結果に終わってしまいました。結果として、目標としていたチームを作ることができず、監督をはじめ、ご指導ご声援くださいましたOB・OGの方々に対して大変申し訳なく思っています。しかし、昇格・降格という1打を争う試合の中で後輩達は非常によく頑張ってくれました。この1年間で彼らが大きく成長を遂げてくれたのは確かです。Bブロック昇格は、後輩達に期待を込めて託したいと思います。

伝統ある本学の主将に任命され、重大な責務を背負った1年間。私はたいへん貴重な経験をさせていただきました。これから部の先頭に立つ「新主将 大原」には、この伝統の重みと責任を感じて部を率いてほしいと思います。主將在任中のご指導ご声援、誠にありがとうございました。今後は、先輩OB・OGの方々とともに後輩の指導と支援に務めていきたいと思っています。



4年 甚野 政義

【 女子主将 】

部の活動をひとまず引退した今、私のゴルフ部員としての4年間を振り返ってみますと、長かったようであつという間であり、自分のゴルフの技量のなさや、部をまとめる立場としての力量不足を痛感するとともに、このような私を支えてくださったOB・OGの諸先輩方や同期部員、後輩に対する感謝の気持ちで一杯です。

私はゴルフ部の活動を通じて、技術面以外にもマナーやルールなど、実に多くのことを学ぶことが出来ました。さらに近年は、OBの原先輩、菅先輩、中島会長、青木監督を始めとした多くの方々のご協力のお陰で、ゴルフに取り組みやすい環境が整ってきました。そして今年は、1年生部員が沢山入部するなど、このような大変良い時期に部員として立ち会えたことを大変うれしく思います。

私が2年生のときに、女子部がBブロックに昇格して以来、なんとかBブロック残留のまま引退できたことはうれしいのですが、今年に関しては、運も味方しての残留であり、実力的に厳しい状態であることは否めませんでした。自分の力の無さに反省しつつ、現役の皆さんが、Bブロックで戦える実力をつけてくれることを願ってやみません。これからはOGとして、現役部員の皆さんを陰ながら応援したいと思います。4年間どうもありがとうございました。



4年 伊藤 鮎子

平成18年度新主将 ご挨拶

【 男子新主将 】

このたび、平成18年度立教大学体育会ゴルフ部の主将を務めさせていただくことになりました大原伸一です。

私が主将として1年間部活を運営していく中の目標は、リーグ戦においてBブロック昇格を果たすことと、伝統あるゴルフ部の魅力を後輩に伝えることです。



3年 大原 伸一

私がゴルフ部に入部したとき男子はBブロックに属していました。1年生だった私から見てもBブロックの雰囲気というものは特別なもので、現在属しているCブロックとは何か違います。この言葉では表すことのできない雰囲気を体験し後輩に伝えるため、自分達3年生に残された2回のリーグ戦でBブロック昇格を果たしたいと思っております。

しかし、現在のチームにはCブロック残留にかける実力しかありません。この事実は部員全員が自覚しております。半年後にせまった春季リーグ戦においてBブロック昇格を狙うには、個々の技術向上はもちろんのこと、部員一人ひとりに強い意識を持たせる必要があります。各人が部員として何をすべきかを考え、目的を持って日々を大切に過ごすことが大切だと思います。自主性という言葉には責任がついてくると思いますが、部員全員が自主性を持って責任を感じながら行動をしてほしいと思います。このような意識を部員全員が持てるように、私自身が発言に責任を持ち、後輩たちに見本とされるような行動を常に部活を引っ張っていきます。

OB・OGの方々の期待に応えられるように部員一同頑張っていきますのでこれからもご支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。

【 女子新主将 】

このたび、女子主将を務めさせて頂くことになりました、中島由美子です。一言ご挨拶させて頂きたいと思っております。

私の目標としましては、大きく1つあります。まずひとつは、現役部員全員のゴルフ技術向上であります。ゴルフは個人スポーツなので、自分に厳しく努力した分だけ必ず結果はついてくると考えております。常に向上心を持って練習に取り組み、ゴルフをもっともっと好きになって欲しいと思っております。

そしてもうひとつは、部員一人ひとりが何事にもまず自分で考え、信念を持って行動できる人間になってもらうことです。体育会ゴルフ部は、ただゴルフをするだけでなく、人としての成長の場でもあると私は考えております。そのような体育会ゴルフ部の魅力を伝えていくのが自分の役目だと思っております。この2つの目標を土台に、部員一同一丸となって、Bブロック残留を目指します。

最後になりましたが、監督をはじめOB・OGの皆様には、日ごろからの温かいご支援、ご指導に心から感謝しております。現役一同頑張ってお参りますので、今後とも変わらぬご指導のほど宜しくお願い致します。



3年 中島 由美子

【 日本学生ゴルフ連盟委員長 】

私はこの度、平成18年度日本学生ゴルフ連盟及び関東学生ゴルフ連盟委員長に就任致しました、社会学部産業関係学科3年の加賀山雅です。

立教大学からの連盟委員長は、平成15年度の長田昌也先輩から3年ぶりとなります。私が1年生の時から長田先輩の下で連盟運営に携わってきて、そのお姿を拝見している分、責任の重大さを感じ、身の引き締まる思いです。

近年、学生ゴルフのレベルは大変高く、素晴らしい選手も沢山います。そういった中、2年間仕事をしてきてよく目に付いたことが、服装や頭髪の乱れといったエチケット・マナーの問題です。前々から注意は促されているにもかかわらず、改善されないのが現状です。細かい点ではありますが、ゴルフファーとしての意識をもっと選手に持ってもらえるよう、1年間頑張っていきたいと思っております。

最後になりましたが、個人的な目標として、関東学生ゴルフ連盟委員長として、また一人の選手としても活躍できるように努力していきたいと思っておりますので、宜しく御願い致します。



3年 加賀山 雅

高校、中学ゴルフ部活動報告 ～ 念願の第一歩～

2005年夏、立教のゴルフが変わっていくであろう出来事がありました。

立教ファミリーでゴルフというスポーツに取り組んでいけたらどんなに楽しいだろうか。付属だから出来ること、しかも立教は小学校から大学までのびのびやりたいことをチャレンジできる学校なのだから、小・中・高・大学そしてOB、家族みんなでゴルフに取り組んでいけば大学体育会ゴルフ部も大きく、力のある部になっていくはずだと思っていました。

そして今年、初めて立教新座高校、立教池袋高校両校のゴルフ部が同じゴルフ場で合宿を行ったのです。数年前に大学ゴルフ部と立教新座高校の縦の交流は行ってきましたが今回は横の交流です。合宿地は高校の全国大会、関東大会が開催される栃木県那須野ヶ原カントリークラブ。合宿には大学の現役部員がコーチングスタッフとして合宿に参加してくれました。部として長年活動している新座と、やっと部として動き始めた池袋が、少しずつですが1週間の合宿を通して友情が深まり、技術的な差が縮まってきたようにも思えました。

また、この合宿には4月に発足した立教池袋中学校ゴルフ部から10名を超える中学1年生が参加しました。ここ数年ゴルファーの若年化が目立ち、他中学のゴルフ部合宿と一緒にすることがありましたが、我が立教で実現するのはまだ先のことと思っていました。しかも1年生のほとんどが、3年前に鈴木正敏先輩、大学ゴルフ部青木監督、大学ゴルフ部岡田コーチほか多くのOBのご尽力で、立教小学校の授業で初めてスナッグゴルフの指導を行った時の教え子たちだったのです。あの当時（実は毎年）は昼間に仕事を抜け出して小学校に指導に行くなど大変でしたが頑張った甲斐があったと実感しました。

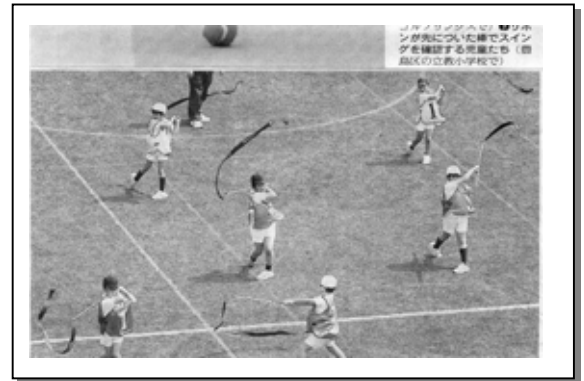
日本経済もなかなか上向きにならず、高校・大学の新入部員も減少している昨今、1学年10名を超える部員がいるのは頼もしい限りです。この子供たちが中学・高校の6年間ゴルフ部で練習し成長し、我が大学ゴルフ部に入学してくることを考えると、近い将来Aブロック昇格も夢ではないと確信しております。他大学においては強い選手だけを集めて勝利を勝ち取る傾向が強まっておりますが、立教は一貫教育ならではの選手育成と体育会ゴルフ部OB会を中心とする団結力で勝利を勝ち得ることが出来るはずです。

小学校から流れが始まり中学、高校で新しい力が加わり、大学でも強い選手に引っ張られて新しい可能性が芽生える。今回の合同合宿はそんな夢が実現する大きな一歩だったはずです。これからは毎年、スナッグゴルフを経験した立教小学校のチビッ子ゴルファーが立教池袋中学校に進んでいくことでしょう。次のステップとして新座中学校にもゴルフ部を発足させ、新座、池袋の両校がそれぞれのカラーでいい選手を作り上げ、大学体育会ゴルフ部でその力が一つに集結することを期待します。その為にはコーチングスタッフの人員補強や環境づくりも同時に取り組んで行く必要があります。OB会員の皆様のより一層の積極的なご協力をいただければ幸いです。将来の立教大学体育会ゴルフ部の輝きを願い、今後とも高校・中学の指導に全力を尽くせるよう頑張ってお参りますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

立教新座高校ゴルフ部監督 川上恭弘（昭和63年卒）

立教小学校 スナッグゴルフ関連情報！！

現在、立教小学校では体育の授業でスナッグゴルフという道具を使って、体育の授業が行われています。また授業以外にも、4年生、5年生、6年生に代表チームがあり、放課後に練習したり、試合に出場したりしています。尚、彼らを指導しているのはゴルフ部OBの有志です。授業の対象は3年生、4年生で、体育の授業でゴルフが行われている小学校は珍しく、新聞でも度々取り上げられてきました。その日頃の成果もあり昨年12月に行われた関東大では6年生チームが見事優勝をしました。



(5月29日読売新聞掲載記事)

～第3回スナッグゴルフ関東小学生チーム選手権の優勝を振り返って～

6年生チームが結成されたのは彼らが4年生の時でした。結成の理由は4年生までを出場上限としたJGTO カップというスナッグゴルフの全国大会に出場するためでありました。試合の結果は見事優勝、彼らにとって華々しい幕開けとなりました。それから間もなくして行われたこの関東大会の第1回大会。出場上限は6年生までとはいえ、JGTO 優勝チームという誇りをもって意気揚々と乗り込んだこの大会で、優勝した「チーム井上」には遠く及ばない成績で4位となり、悔しい思いをしたことは今でも忘れない記憶として私の中に残っています。それから1年後、彼らが5年生となってリベンジを果たすべく乗り込んだ第2回大会でも、「チーム井上」に負けて2位という結果でした。この時はチーム結成以来最悪の出来であり、惜敗というより、惨敗の2位であったと私は受け取っていました。大学生とは違い、小学生にとってはまず出場すること、そしてゴルフを楽しむことや、友達を作ることが第一の目的であり、結果を追求し過ぎてはいけない、ということはわかっています。例えば、私が大学生とゴルフを通じて接し続けてきたここ数十年の中で、彼ら大学生はリーグ戦で勝った時には子供のようにはしゃいで喜びます。逆に負けた時、または自分の思っていたスコアを出せなかった時には、かなり落ち込んで涙する者もいます。たった一度悪かった日のプレーを引きずる者も少なくありません。私もそんな大学生を叱咤激励しながら付き合ってきました。ところが、そんな大学生とは違い、悪いスコアで上がってきた直後に、落ち込むどころか、はしゃぎまわったり、カードゲームをしているのが小学生です。彼らを見ていると、別に1位にな

らしくいいのではないかと、負けても勝っても楽しくゴルフが出来ればいいのではないかと考えさせられてしまうのです。ただ私の中では、卒業を前にしたこの最後の試合で、出来ればもう一度彼らとともに優勝の喜びを味わって終わりに出来たらどんなに最高のことだろうと強く思っていました。そして試合の前日から彼らをどうしたら本気にさせられるか、どうやったら昨年のような失敗をすることなく能力を引き出すことが出来るか真剣に考えていた私は、予定通り彼らに試合直前に考えていた秘策を実行し、彼らをスタートホールへと送り出しました。秘策は効いたかどうかはわかりませんが、結果は見事に優勝、優秀の美を飾ることが出来ました。チームを結成し、すぐに優勝。その優勝チームが挫折を味わい、最後に再び優勝…。ドラマにしても出来過ぎだと思ほどのです。また、そんな優勝の喜びとともに、5年生チーム、4年生チームと一緒に3チームが出場したということも大変すばらしいことであり、私にとっては喜びに輪をかけるものとなりました。このことは立教学院におけるゴルフというものを鑑みても、財産といっても過言ではないほどすばらしい事実だったと思っています。

最後になりますが、卒業していく6年生の今後の活躍を期待するとともに、子供以上に努力をされてきましたご父兄の皆様にご心より御礼申し上げます。私は監督となり、リーグ戦で優勝し、ゴルフ場において過去3回も大学生に胴上げをされている幸せ者です。4回目の胴上げを、まさか小学生にノーザンCCでされるとは思っていませんでした。本当にありがとうございました。

6年生チーム監督 青木克益（昭和63年卒）

第3回スナッグゴルフ関東小学生チーム選手権

日時：2005年12月3日 場所：ノーザンC.C.錦ヶ原ゴルフ場

主催：スナッグゴルフ日本事務局・㈱アコーディア・ゴルフ

後援：日本Jr.ゴルファー育成協議会

[最終成績]

優勝	立教小学校6年生チーム	127
2位	チーム井上	133
3位	立教小学校5年生チーム	137
4位	チームハイランド	139
5位	立教小学校4年生チーム	142
6位	慶応幼稚舎ゴルフクラブKチーム	145
7位	さいたま&スポルテモンキーズ	152
8位	ひだかSGC Aチーム	152
9位	ひだかSGC Bチーム	157
10位	慶応幼稚舎ゴルフクラブOチーム	158
11位	横浜チョロリンズ	164
12位	チームTOPIC	164
13位	チームノーザン	172
14位	青山シャンクス Jr	176
15位	常盤 Jr	176
16位	チーム農園	181
17位	大平台連合	193



第四回 立教「大学」「新座高校」「池袋中・高校」ゴルフ部対抗戦

開催日：2005年12月26日(月) コース：大宮国際カントリークラブ

試合形式：各校8名出場、上位7名の合計ストロークにより順位を決定

恒例となりました高校との対抗戦が、晴天でしたが強風で寒い中、大宮国際カントリークラブで行われました。試合形式は各校8名出場で上位7名の合計スコアで争いました。この対抗戦に出場できた24名の他に26名がフレンドリーマッチを行い、コーチも参加しましたので、総勢50名以上の立教ゴルフ部ファミリーが集合しました。

この対抗戦は大学と新座のゴルフ部対抗戦として始まりましたが、正式なゴルフ部としてスタートをした池袋中・高校も昨年より合流、今年で4回目となります。今までも、大学生と高校生と一緒にゴルフをすることはありましたが、この大会には中学生も参加し、大学生と一緒にゴルフをするという大変有意義な大会となっています。今年は中学1年生で対抗戦グループに出場した亀井君が、元気に大学生と一緒にプレーしていました。また亀井君以外にも、中学1年生の部員が10名以上在籍していますので、将来の高校ゴルフ部にとって、そしてちょっと気が早いのですが、6年後の大学ゴルフ部にとって、大変楽しい状況であります。試合の結果は、当然ながら？大学が見事4連覇を果たしました。

成績表

対抗戦グループ

新座高校トータル 728ストローク						池袋中学・高校トータル 765ストローク					
	名前	学年	セレイ	ヒバリ			名前	学年	セレイ	ヒバリ	
新座	佐藤礼弥	高3	47	53	100	池袋	山崎史晃	中2	53	64	117
新座	松本直	高1	51	58	109	池袋	櫻井隆介	高2	53	55	108
新座	新井俊矢	高2	57	55	112	池袋	内藤昌朋	高3	66	50	116
新座	加藤雄太	高2	64	65	129	池袋	神山和久	中3	55	47	102
新座	鈴木崇仁	高1	48	41	89	池袋	久本佑樹	高2	55	57	112
新座	恩田徹	高2	45	42	87	池袋	牛島郷介	高2	60	51	111
新座	佐藤大和	高2	59	50	109	池袋	亀井健太	中1	53	59	112
新座	遠藤裕一郎	高3	56	66	122	池袋	高埜哲史	高3	50	54	104

大学ゴルフ部 トータル 626ストローク					
	名前	学年	セレイ	ヒバリ	
大学	中西孝典	3年	42	45	87
大学	別府弘章	1年	39	38	77
大学	郡司聡史	2年	48	45	93
大学	金子直久	2年	47	41	88
大学	加賀山雅	3年	44	55	99
大学	松本慎平	1年	49	58	107
大学	石川悠太	3年	43	43	86
大学	大原伸一	3年	49	47	96

フレンドリーマッチグループ

所属	氏名	学年	セレイ	ヒバリ	計	所属	氏名	学年	セレイ	ヒバリ	計	所属	氏名	学年	セレイ	ヒバリ	計
池袋	中山元生	高3	75	64	139	池袋	千田剛毅	中2	68	57	125	池袋	渡辺拓也	中2	70	69	139
池袋	吉田健詞郎	高3	53	59	112	池袋	山田類	中2	53	64	117	池袋	小原悠司	中1	76	73	149
池袋	田中康雄	高3	53	63	116	池袋	兼田大嗣	中1	70	68	138	池袋	鷹巢仁哉	中1	69	70	139
池袋	岸野浩也	高3	68	53	121	池袋	金澤雄磨	中1	61	64	125	池袋	中村康平	中1	78	82	160
池袋	小野泰輔	高3	56	63	119	池袋	宇佐見雅俊	中1	57	68	125	池袋	前田諭佑	中2	53	61	114
池袋	近藤嘉彦	高3	58	63	121	池袋	加藤裕也	中1	59	68	127						
池袋	小川智優	中3	71	62	133	池袋	那須一暉	中1	60	75	135						
大学	川島栄太郎	1年	52	48	100	大学	原田陽平	1年	53	48	101	大学	片桐幸之助	1年	54	52	106
大学	山村祐介	3年	47	48	95	大学	下条雄紀	3年	52	56	108	大学	寺尾洋介	1年	51	51	102
大学	釣部雅義	2年	55	53	108												

平成 17 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会総会 議事録

平成 17 年 4 月 22 日(金) 於 八重洲倶楽部

第一号議案 平成 16 年度事業報告

平成 16 年	4 月 23 日	総会 及び 懇親パーティ 於:八重洲倶楽部
	6 月	立教小学校体育の授業で「スナッグゴルフ」指導 (4、5 年生対象)
	6 月 21 日	立教大学体育会OB・OGクラブ定期総会 於:太刀川記念館
	7 月 23 日	OB会常任幹事会
	8 月 23 日	関東八大学ゴルフ部懇親競技会 於:嵐山カントリークラブ
	8 月 26 日	体育会 OB 会各部懇親ゴルフ会 於 狭山ゴルフクラブ
	9 月 6 日~10 日	夏季一般合宿 於:那須小川カントリークラブ
	9 月 16 日	立教大学野球部創部95周年ゴルフ大会 於:霞ヶ浦出島ゴルフコース
	9 月 18 日	OB会東西対抗ゴルフ会 於:東京ゴルフ倶楽部
	9 月 26 日	立教大学体育会OB・OGクラブ役員研修、懇親旅行会 於:伊東温泉「わかつき」別邸
	10 月 1 日	OB会常任幹事会
	10 月 21 日	関東八大学対抗ゴルフ会 於:千葉CC 川間コース
	11 月 13 日	OB会ゴルフ会 於:嵐山カントリークラブ
	11 月 16 日	立教大学野球部創部95周年記念祝賀会 於:ホテルメトロポリタン
	11 月 30 日	体育会 OB 会各部懇談会 於:第一食堂 藤だな
	12 月 8 日	OB会常任幹事会
平成 17 年	1 月 7 日	立教「大学」「新座高校」「池袋高校」対抗戦 於:大宮国際カントリークラブ
	1 月 13 日	立教大学体育会総会 於:タッカーホール
	3 月 7~10 日	春季一般合宿 於:喜連川カントリー倶楽部
	3 月	会報発行

第二号議案 平成 16 年度収支決算報告 (次ページ 表 1 参照)

第三号議案 平成 17 年度事業計画

平成 16 年	4 月 23 日	総会及び懇親パーティー 於 八重洲倶楽部
	5 月末~6 月半ば	立教小学校体育の授業で「スナッグゴルフ」指導 (4、5 年生対象)
	7 月	OB会常任理事会
	7 月	OB会ゴルフ会
	8 月	夏季一般合宿
	8 月	関東八大学ゴルフ部懇親競技会 於:嵐山カントリークラブ
	8 月	体育会OB会各部懇親ゴルフ会 於 狭山ゴルフクラブ
	9 月	OB 東西対抗ゴルフ会 於 東京ゴルフ倶楽部
	9 月	OB 会学年幹事会
	10 月	関東八大学対抗ゴルフ会
	11 月	立教大学体育会OB・OGクラブ各部長懇談会
	12 月	OB会常任幹事会
平成 18 年	1 月	立教大学体育会総会 於:タッカーホール
	2 月	会報発行
	2 月	OB会常任幹事会
	3 月	春季一般合宿

第四号議案 平成 17 年度収支予算案 (次ページ 表 2 参照)

第五号議案 その他

総務委員会 森山 奈美江 (平成元年卒)

表1 平成16年度立教大学体育会ゴルフ部OB会収支決算書 期間：平成16年4月1日～平成17年3月31日

収入の部			支出の部		
費目	金額	備考	費目	金額	備考
前期繰越金	5,325,503		総会費	145,640	
会員会費（自振）	1,637,000	172名	現役補助金	611,000	
会員会費（現金）	160,000	16名	体育会OBクラブ	30,000	年会費
OB総会収入	65,000		競技費	134,000	八大学コーチ・現役
預金利息	39			100,000	八大学OB対抗
				21,000	OB東西対抗
				28,000	体育会コンペ
			慶弔費	40,000	野球部
			会議費	79,795	
			体育会OBクラブ研修会費	38,640	
			会報	83,202	印刷発送費
			OB会ゴルフ大会	250,000	
			OB会役員交代挨拶状	139,650	印刷発送費
			自振手数料	40,320	
			通信費	4,305	
			雑費	2,313	
			【小計】	1,747,865	
			次期繰越金	5,439,677	
	¥7,187,542			¥7,187,542	

表2 平成17年度立教大学体育会ゴルフ部OB会収支予算案 期間：平成17年4月1日～平成18年3月31日

収入の部			支出の部		
費目	金額	備考	費目	金額	備考
前期繰越金	5,439,677		総会費	150,000	
会員会費	1,800,000		現役補助金	700,000	
預金利息	50		体育会OBクラブ	20,000	
			競技費	300,000	
			慶弔費	100,000	
			自振手数料	40,000	
			OB会ゴルフ大会	250,000	
			会議費	100,000	
			50周年記念準備委員会費	100,000	
			分科会補助	250,000	5委員会
			会報	100,000	
			雑費	5,000	
			小計	2,115,000	
			次期繰越金	5,124,727	
	¥7,239,727			¥7,239,727	

会計担当 須藤 敏之（昭和50年卒）

平成17年度ゴルフ会参加者

競技名	開催日	会場	参加者							
体育会OBOGクラブゴルフ会	8/24(水)	狭山GC	菅(昭45)	中島(昭46)	滝沢(昭49)	藤田(昭53)	設楽(昭53)	狩野(昭57)		
ゴルフ部OB会 現役親善試合	9/14(水)	狭山GC	遠藤(謙)(昭36)	佐野(誠)(昭41)	中島(昭46)	設楽(昭53)	北口(昭58)	青木(昭63)	岡田(平2)	矢作(平15)
学連東西シニアOBゴルフ会	9/16(金)	東京GC	松本(昭38)	原(昭45)	山口(昭46)	浅井(昭48)	滝沢(昭49)	須藤(昭50)		
関東八大学ゴルフ会	10/19(水)	霞ヶ関CC	久保田(昭35)	松本(昭38)	古澤(昭41)	原(昭45)	菅(昭45)	中島(昭46)	山口(昭46)	浅井(昭48)
			滝沢(昭49)	狩野(昭57)	北口(昭58)	青木(昭63)				

平成17年度 お忙しい中上記ゴルフ会に出席して頂いた方々に感謝の意を表したいと存じます。
誠にありがとうございました。

OB会諸兄諸姉へ OB会費納入のお願い

早春の頃、OB会員の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。昨年度はOB会の主旨にご賛同頂き沢山の会員の方からの自動振込み手続きの申し込みを頂き、会長はじめ幹事一同より心よりお礼申し上げます。本年度も現役選手諸君のリーグ戦、個人戦の日程が発表され日々益々ボルテージもあがっております。近年、試合を見据えた合宿、練習など現役諸君が負担する経費も年々増加の一步をたどり、より一層の支出が予想されますのでOB会としてもできるだけ彼らをバックアップする意味合いでも、まだ会費未納入の会員におかれましては是非、自動振込み手続きまたは振込みをお願いする次第でございます。何卒ご協力ご尽力頂けます様宜しくお願い申し上げます。

OB会会計 須藤 敏之（昭和50年卒）

《OB会口座》

みずほ銀行新橋町支店日本橋浜町出張所 普通預金口座 8035835 立教大学体育会ゴルフ部 OB会

男子：年額 10,000 円（ただし、卒部後 3 年までは 5,000 円）

女子：年額 8,000 円（ただし、卒部後 3 年までは 5,000 円）

《自動振込み用紙の送付先及び連絡先》

〒103-0007 中央区日本橋浜町 2-15-5 須藤敏之 電話 03-3668-1605 F A X 03-3668-1603

平成 17 年度 OB会費納入者一覧表（計 201 名 敬称略） 会費納入いただき、ありがとうございました。

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
昭32	粕谷 唯一	昭41	後関 満之	昭45	原 篤	昭50	勝又 康夫	昭62	笹田 和典	平9	藤井 靖
昭33	長谷川 弘二	昭41	佐野 公胤	昭45	佐藤 勝彦	昭50	伊藤 雄夫	昭62	古屋 裕子	平9	中山 京子
昭34	吉岡 正恒	昭41	白石 大史	昭45	阿部 武	昭51	樋 秀和	昭63	井上 剛志	平9	川俣 奈央
昭34	池田 謙二郎	昭41	呉 東富	昭45	長堀 浩一	昭51	大畑 栄之	昭63	川上 恭弘	平9	北村 友子
昭35	久保田 啓夫	昭41	関口 雅章	昭45	木内 藤男	昭51	城村 秀身	昭63	野口 治郎	平9	平野 裕美
昭35	藤ヶ崎 睦美	昭41	関根 守夫	昭45	鈴木 弘子	昭52	小俣 昌之	昭63	青木 克益	平10	石渡 一郎
昭35	金澤 良信	昭41	武笠 全一朗	昭45	菅 真知	昭52	鈴木 正敏	昭63	長谷川 弘美	平10	安部 真司
昭36	小泉 直	昭41	田中 章夫	昭46	中島 敬夫	昭52	館野 雅子	平元	金山 俊明	平10	近藤 将人
昭36	星合 敏彦	昭41	野島 洋二	昭46	神田 研二	昭53	小澤 省一	平元	熊沢 秀泰	平10	鳴川 万希子
昭36	遠藤 伸	昭41	松本 徹	昭46	峰岸 裕行	昭53	村上 則忠	平元	白石 剛	平10	宮腰 保志
昭36	恩田 幸正	昭41	佐野 誠子	昭46	神尾 守	昭53	設楽 守広	平元	森田 さえ子	平11	根岸 睦人
昭36	金井 浩	昭42	石原 雄作	昭46	城 立仁	昭53	藤田 明弘	平元	森山 奈美江	平11	吉田 琢
昭36	倉島 光一	昭42	原田 忠之	昭46	松波 頼明	昭54	飯田 洋	平2	岡田 光史	平12	遠藤 大介
昭36	八木下 省三	昭42	松本 修	昭46	山口 高	昭54	猪飼 武久	平2	近藤 寛樹	平12	新田 浩史
昭37	林 孝	昭42	鈴木 良三	昭46	宮坂 衛	昭55	山崎 哲義	平2	廣瀬 義徳	平12	神田 好一郎
昭38	笠原 康宏	昭42	西沢 好昭	昭47	稲川 一	昭55	海老原 寿人	平2	乗附 和明	平12	越田 享
昭38	湯浅 紀男	昭42	勝又 基夫	昭47	永瀬 一雄	昭56	渡辺 哲也	平2	内山 明子	平13	吉井 庸之
昭38	田中 正明	昭42	川田 太三	昭48	小田 一行	昭56	矢部 徹也	平2	清水 祐里子	平13	鶴川 陽夫
昭38	志村 輝雄	昭42	檜山 圀彦	昭48	木村 恭介	昭56	小浜 達也	平2	大西 しずか	平13	岡本 賢人
昭38	加島 泰二	昭43	田中 一成	昭48	片岡 康夫	昭57	狩野 達男	平3	春日 照貴	平13	平本 麻里子
昭38	伊藤 庸	昭43	小山 博通	昭48	浅井 隆	昭58	北口 博	平3	湯浅 康弘	平14	鈴木 康友
昭38	滝川 静子	昭43	貝谷 忠彦	昭49	滝沢 光雄	昭58	斎 孝浩	平3	伊藤 智子	平14	朝野 照章
昭38	前田 啓子	昭43	保坂 道子	昭49	相沢 正	昭59	今井 克典	平3	小石 織江	平15	丸山 大輔
昭39	武藤 一彦	昭44	鈴木 伸雄	昭49	野口 勝	昭59	山本 浩二	平4	細谷 昭久	平15	矢作 圭翼
昭39	村田 義昭	昭44	村上 博典	昭49	石井 定明	昭59	斉藤 正久	平4	湯浅 吉博	平15	三浦 真理子
昭39	伊東 祐次	昭44	加瀬 正彦	昭49	相沢 辰男	昭59	鈴木 淳也	平5	角田 岳	平15	小坂 徳郎
昭39	原 紀世子	昭44	吉池 昭	昭49	泉 俊三	昭59	会田 美智弥	平6	上保 裕樹	平15	田谷 洋之
昭40	金谷 輝雄	昭44	増田 智恵	昭49	坂田 一郎	昭59	入江 誠一	平6	落合 和彦	平15	荻野谷 順子
昭40	野村 恭子	昭44	檜山 弘子	昭49	神田 義夫	昭59	増田 剛	平7	飯田 健一	平17	佐々田 有樹
昭40	石神 敬子	昭44	横山 百合子	昭49	金山 雅威	昭60	内藤 千織	平7	中村 香奈子	平17	菊池 久美子
昭40	池上 啓子	昭44	勝又 久雄	昭49	川島 幸夫	昭61	松田 千代美	平7	宮崎 リサ		
昭40	谷田 大輔	昭45	大畑 公一	昭50	中島 久夫	昭61	菅野 裕子	平9	川俣 雅昭		
昭41	明浦 克夫	昭45	木村 憲司	昭50	宮下 治也	昭61	桑原 孝子	平9	角田 昌浩		
昭41	雨宮 久雄	昭45	小池 清次	昭50	須藤 敏之	昭61	笠井 由紀子	平9	平野 義三		

平成18年度 立教大学体育会ゴルフ部OB総会及び懇親パーティーのお知らせ

OB 会会員各位

平素はOB会の運営にご協力くださりましてありがとうございます。

さて、今年も例年通り下記日程にてOB総会及び懇親パーティーを行うことになりました。ご多忙中恐縮ではございますが、一人でも多くのOB、OGの方のご出席・ご参加を賜りたくお願い申し上げます。

OB 会長 中島 敬夫

記

日程 平成18年4月18日(火)
総会： 午後6時開会
懇親パーティー： 午後6時30分開会

場所 JR 東京駅 大丸8階 レストラン街 バンケットルーム(予定)

会費 3,000円

尚、準備の都合上、4月4日(火)までにこのOB会報に同封されている返信用のはがきにて出欠のご返事をいただけますようお願い申し上げます。

以上

— この会報は皆様からお振込みいただいたOB会費によって制作されています —

平成18年度立教大学体育会ゴルフ部OB会 会報

発行者：立教大学体育会ゴルフ部OB会

事務局：東京都豊島区西池袋三丁目 立教大学内

発行人：中島 敬夫 編集人：角田 岳、川俣 雅昭

<http://www2.odn.ne.jp/rikkyo-golf/>

(立教大学体育会ゴルフ部ウェブサイトにて、ゴルフ部の最新情報をご覧ください。)